

大賞に前田さん(進明中)

ふくジュニア文学賞 エッセーは13年ぶり



ふくジュニア文学賞の入賞作品を選ぶ審査員。1日、福井新聞社

第16回ふくジュニア文学賞(福井新聞社、県小中高校教育研究会国語部主催)三谷市民文化振興財団特別協賛)の審査会が1日、福井新聞社で開かれ、大賞に福井市進明中2年、前田真紀さんのエッセー「猫が教えてくれること」が決まった。エッセーが大賞に選ばれたのは13年ぶり2回目。同文学賞は▽エッセー▽小説▽創作童話▽詩▽短歌▽俳句の6部門。県内の小中高校生1434人から2139点の応募があった。児童文学者の藤井則行さんを審査委員長に4人が審査し、部門を超えた最優秀作1点も気にせずチャレンジ」する様子を目に留め、白

分もそう変わりたいと、のびのびとした文章でつづった。エッセー部門の審査を担当した畑光枝・県中教研国語部会長は「ネコと自分を比較する発想が面白い。意外な書き出しなど構成にも工夫があり、一気読みさせる」と講評。「日記風の作文でも意見を書かない『エッセー』を書くことは、児童生徒には難しい。大賞作は、無理なく自分の思いを質問から伝えている」と高く評価した。同文学賞は第3回(1997年)以外、小説と創作童話が大賞を占めている。

応募作品全体の講評として、藤井委員長は「いじめや虐待が身近な問題なのか、友人・家族関係をテーマにした作品が増えている」と指摘。「創作を通して問題を考えたり、望ましい傾向」と話した。表彰式は23日午前10時半から、福井新聞社・風の森ホールで開かれる。【小説】▽優秀賞 山野詩歩(神明小)奥田ひかり(足羽一中)飛田志織(金津高)▽秀作 坂井咲絵(中藤小)中村愛香(清明小)藤澤七海(田山小) 飯下奈

央(明倫中) 松村真有(丸岡高) 【創作童話】▽優秀賞 岡中川村ひかる(粟野中) 石塚光(福井商高) 山形奈津美(高志高) 井上千鶴(若狭高)▽佳作 杉森康一中(藤小) 前田奈美(下庄小) 藤田加奈子(三国中) 今井碧(今野沙紀) 水野海帆(武生一中) 益永綾(南越中) 鈴木翔太(科技高) 永見唯(武生高) 寺阪明利(武生中) 小谷友貴子(田

村明道中) 中山駿乃(三國中) 上木優花(武生三中) 押野綾子(武生商高) 【詩】▽優秀賞 馬淵紀佳(麻生津小) 渡辺夏実(永平寺中) 竹中和音(武生高)▽秀作 尾崎暉、かつ見なな子(明新小) くぼまゆ(清明小) 河村桃(清水中) 谷明小(上坂三希子、松永恵末(武生三中) 佐々木涼子(武生商高)

寺山胡桃(仁愛女子高) 佳作 下ららゆつき、室田りく太(明新小) 夢田圭吾(湊小) 児玉昌哉(安居小) 手賀健人(福大附小) 林真梨奈(社中) 和田早加(福井商高) 村上湧哉(科技高) 山崎亮平(南越賞護) 【短歌】▽優秀賞 前川美里(田山小) 村岡勇祐(福大附中) 垣内雅貴(武生高)▽秀作 和田卓也(福井・和田小) 高尾茉莉(本庄小) 伊藤美結(有終西小) 高山純(進明中) 板原彩花(坂井中) 石丸夏海(翠里実(高志高) 藤崎由真(武生高)▽佳作 佐々木麻衣(清明小) 青山侑加(足羽小) 清水菜穂(上志比小) 龍田幸奈、前田実津季(坂井中) 河藤美奈(美浜中) 鉦田翔太(科技高)

【俳句】▽優秀賞 堀田茉莉子(福井・和田小) 牧川桃花(福大附中) 富田将平(科技高)▽秀作 たなかあおい、渡辺佳菜(森田小) 竹田峻也(福大附小) 山田翔吾(上志比中) 小玉祐(科技高) 内田圭耶(武生高)▽佳作 辻本臨(麻生津小) 木下綾乃(小山小) 寺尾望(進明中) 佐藤一輝(福大附中) 伊藤麻希(武生高) 【エッセー】▽大賞 前田真紀(進明中)▽優秀賞 手賀梨々子(福大附小) 廣瀬允子(明道中)▽秀作 木下温香(丹生高)▽佳作 斎藤信哉(柳川将輝神